

1978年に本学図書館が刊行した所蔵目録

『ウィリアム・シェイクスピア—作品と参考文献—』

1978（昭和53）年刊行

今年「シェイクスピア生誕450周年」にあたります。ウィリアム・シェイクスピアは1564年にイングランドで生まれ、生涯を通じて37の戯曲と2・3の詩集を残したと言われています。それらの戯曲は上演されると、当時の演劇の中でひととき人気を博したようです。

このように、彼が多く優れた作品を創作していたため、イングランドでは生存中からクォート（四つ折り本）の形で作品が刊行されてきました。彼は1616年に亡くなりますが、その7年後の1623年にはフォリオ（二つ折り本）の版で、彼の初めての『戯曲全集』が刊行されました。この全集はその後、三度訂正が行われ、また、単一作品の書物も版を重ねました。

さらに、18世紀から今日にかけて、印刷技術の発展と共にイギリスをはじめ世界各国で極めて多数の彼に関わる書物が刊行されてきました。この中には作品も含まれますが、シェイクスピアという人物についての作家研究も含まれています。

本学図書館では1978（昭和53）年に、学園創立30周年を記念した図書所蔵目録『ウィリアム・シェイクスピア—作品と参考文献—』を刊行しました。これは当時収集していた3,000点にわたる関係書物が収録されています。この中には、残存部数が世界に2百数十点といわれる前述の初めての『戯曲全集』（ファースト・フォリオ）やその後の三つのフォリオ、また『ロミオとジュリエット』と『ハムレット』のクォート版など、現在のイギリスはもとより世界的に貴重な書物

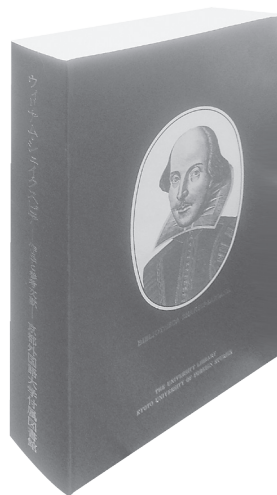
が含まれています。

この目録の刊行には、当時の森田嘉一館長（現本学理事長・総長）のもと、大塚高信教授（文学博士・故人）や湯木満寿美教授（故人）、またイギリス人で図書館研究員であった、ろじゃ・めいちん助教授（故人）、さらには図書委員を兼ねていた英米語学科の教員の方々が参画しました。

内容は序文や稀覯書物の写真・解題付きダイジェストをはじめ、主な雑誌の論文やシェイクスピアに関わる年表なども含めて800頁を越える冊子で、本学図書館の刊行物の中では最も大著と見なすことのできる所蔵目録になっています。

シェイクスピアの誕生をお祝いする年に、ぜひこの目録をご確認ください。

（栞）



『ウィリアム・シェイクスピア—作品と参考文献—』
京都外国語大学付属図書館